



31st

# 藤枝南ロータリークラブ 会報

例会: 毎週金曜日  
会場: 小杉苑 藤枝市青木2-35-30  
TEL: 054-641-3321

事務局: 藤枝商工会議所内 藤枝市藤枝4-7-16  
TEL: 054-646-3919 FAX: 054-643-2000  
E-mail: jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2021-22年度  
会長: 竹田敏和 幹事: 望月 誠  
副会長: 樽井 勉 副幹事: 鈴木寿幸

## 例会 第 1430 回 時間短縮例会/小杉苑

ソング: 君が代、奉仕の理想 ソングリーダー: 村松章典君

### 会長挨拶

竹田敏和君



2 か月ぶりの例会です。まん延防止措置の適用地域の指定、緊急事態宣言の指定を受けることになりました。8月19日には674人にまで感染拡大が進みました。8月末から9月になると減少し始め、9月30日をもって緊急事態宣言も解除され、県の警戒レベルも9月30日にレベル4に下がりました。そこで、本日より例会を再開させていただきました。先日もおしらせいたしました、今月中は短縮例会とし、12時半からセレモニー、会員卓話等のプログラムをして13時にはお弁当を持ち帰っていただくことにさせていただきます。

ロータリー奉仕デーについて報告があります。12月18日に予定していた奉仕デーですが、8月に環境政策課より連絡があり、年内の市のイベントは中止になるとのことです。“もったいない市民のつどい”も中止になってしまいました。9月10日に幹事と環境政策課に打ち合わせに行ってきました。その結果、11月27日に夏休みに子供たちが描いたポスターコンクールの表彰式を市役所の会議室で行われ、そこに数人で参加すること。12月に生涯学習センターでその作品が展示され、優秀作品はパッカー車に写されるということで

す。12月17日の例会を生涯学習センターに移動例会とし、予算組してある横断幕とジャンパーを着て全員で集合写真を撮らせていただきます。環境政策課の職員、藤枝ロータリークラブのメンバーも参加予定です。奉仕デーの要件に一般の市民25%の参加という括りがあり皆様のご家族、奥様等ご協力いただけましたら是非ご一緒に参加いただきたいと思います。参加者のお弁当は用意させていただきます。子供たちの作品も見学していただきます。

ワクチン接種してもブレークスルー感染があるといわれています。これからも感染予防に努めて、クラブ運営をさせていただきますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### 出席報告

佐野博己君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
43/51 84.31%	47/51 92.15%

(1)欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○阿井君○内山君○漆畑君○江崎君○加藤君  
○川口君○桑原君○樽井君

(1)メイクアップ者

食事準備数	食事提供数	残	累計残
45	45	0	6

パーフェクト例会数: 🍻🍻🍻🍻🍻🍻🍻🍻🍻

**欠席連絡は、前日までお願いします**

## ■ スマイルBOX

佐野博己君

- ・ 2ヶ月ぶりの例会です。これから改めてよろしくお願ひ致します。 竹田敏和君
- ・ プレゼントありがとうございます！ 玉木末雄君
- ・ たぶん48回目の結婚記念日です。 有難うございます。 小池吉久君

スマイル累計額 321,000円

## ■ 会員卓話

小嶋英公君



今年7月より入会した、酒商こじま株式会社（酒ヤビック藤枝店）代表取締役をしております小嶋 英公と申します、3歳年下の妻と大学生3年、

高校生3年の息子の4人暮らし、両親とは別に暮らしていますが同じ瀬古に住んでおり存命です。今回は私の自己紹介を兼ねた「私の履歴書」と題しましてお話させていただきます。

まず私の自己紹介から

私は酒問屋に務める父と美容師の母との間に1972年（昭和47年）9月6日に生まれました、昭和47年生まれといえ、木村拓哉、2代目貴乃花、マツコ・デラックスとバブルの香漂う新人類世代と言われていました。小学校は青島東小から青島北小が出来て学区が変わり強制転校して1年間だけ青島北小、そして開校と同時に青島北中へ入学しました。

父が瀬古で酒屋を営み、母方の祖父、伯父も酒屋を営み、私で4代目と言うと語弊がありますが、代々その地域で同じ酒販店を続けている訳ではないので、4人目になりますとお伝えしています。そんな環境で育ったので酒販業に興味があって、ちょうど30年前に高校卒業後、愛知県にある酒類小売・卸・販売業の藤桂京伊株に入社しました、僕が入社したちょっと前の昭和61年にお値打ち価格、倉庫販売の酒ヤビックの1号店がオープンしたばかりでした。

入社してすぐには当時花形である酒ヤビックには部署に配属されず、まず、名古屋市内飲食店へトラックで配達する業務用専門部署に配属され

ました。誰よりも早く入社し、社内の掃除、先輩の机の掃除をして、通常業務で名古屋の栄地区で重いビールを階段で運びへトヘトになりながら下宿先の社長宅へ戻ります、昔で言う丁稚さんみたいに、社長の家に下宿させていただきながら、社長宅敷地内は戦前まで日本酒を造る酒蔵で、蔵もあれば、なんとお寺まであり、お寺で朝は5時起きで座禅から始まり、夜は社長と本を読み、夜遅く就寝、休日は社長と共に色んな場所へ連れていってもらい、様々な勉強をさせていただきました。

その生活が1年も経った頃に、酒ヤビックの部署の上司の目に止まり、酒ヤビックの1号店である守山店へ配属されました、当時は異例だった20歳で店長を務めたり、それ以降も愛知県、三重県、岐阜県の店舗を移動し、静岡出身というだけで静岡県初出店の浜松店を任せられ、その後本社勤務で商品を仕入れする部署の商品課や、当時は月イチで新店をオープンしたり、新しい店の候補を探したりする店舗開発部などにもおり、5年間の間、様々な部署で働かさせていただきました。

その店舗開発部にいた頃に当時はお酒を販売する小売酒販免許は税務署区の人口規制や距離規制などもあり新規出店が大変厳しい時代でした、誰かが事業を止めないと免許枠が開かない状態で、空いてもコンビニエンスさんやスーパーさんが当時は喉から手が出るほど免許枠が欲しくて殺到するので、木製のガラガラ音を立てる抽選機で抽選を行い1税務署管区で1/100くらいの確立で、新規出店が大変難しい時代でした、父の免許を移動することも出来たのですが、それは難しいと父が言うので、店舗開発部でノウハウだけは知っていたので、自分で地所は今営業している志太の店で書類を準備して早めに抽選に参加しようとなりました。

そして藤枝税務署で行われた初めての抽選日に見事、120分の2の確率のくじを引き当てました！が、同時に抽選人本人が資金を調達せねばならず、23歳だった私にはハードルの高い資金調達が待っていました、名古屋や浜松の仕事と並行して行っていたので、休みの度に藤枝の銀行をめぐり融資をお願いしていましたが、なかなかうまくいかず途方に暮れていましたが、ようやく融資してくれる銀行が見つかり、税務署からも無事免状を頂き、晴れて平成8年3月14日に、現在もある酒ヤビック藤枝店を開業しました。開店から苦労の連続でしたが、その後も店舗を増やすこと

もでき、藤枝市内でも知らない人はいないと自分で言うのは恥ずかしいですが、順調に酒販店を経営出来、それから 26 年経ち、数年前に法人化も出来て、現在は人材育成に力を入れて活動しています、また今後は皆様から様々なお話を聞いて、酒販店経営に役立ててまいります。どうかよろしくお願ひ申し上げます。



委嘱状

## 例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
10/15(金) 第 1431 回	時間短縮例会	小杉苑
10/22(金) 第 1432 回	時間短縮例会	小杉苑
10/29(金)	休会	
11/5(金) 第 1433 回	交流例会	理事会

